

第13回 マニフェスト大賞 優秀成果賞<コメント>

江藤俊昭

山梨学院大学教授

鳥獣被害が広がっている。行政に要望するだけではなく、独自に対策を立て実践している町内会・自治会も少なくない。牟佐町内会は、イノシシ等を捕獲するだけではなく、それを肉に加工し町内会イベント等でジビエ肉料理として消費している。また、皮革の加工に取り組んでいる。子どもや大人向けの料理教室、皮革を利用した製品づくり・レザークラフト教室なども開催している。行政の協力も得ていると思われるが、猟友会などの協力によって行っている。

町内会がリードし、捕獲駆除の専門家や皮革製品の専門家と地域住民の協働によって有害獣による被害を減少させる成果を上げている。このことは、コミュニティの育成にも役立っている。(冊子「Manifesto Awards 2018」より転載)



2018年11月9日 於：東京六本木ヒルズ

(左から北川正恭審査委員長：早稲田大学名誉教授、田尻町内会長、黒岩副会長)



産地牟佐 NEWS

平成 30 年 11 月発行：牟佐町内会



今月の TOPICS

牟佐町内会がマニフェスト大賞優秀成果賞を受賞しました！

授賞式*

平成 30 年 11 月 9 日、東京六本木ヒルズでの授賞式に田尻会長と黒岩副会長が出席しました。

町内会がリードして、猟友会など専門家や住民をつなぎ、獣被害を減少させるとともに、豊かな自然が育む「産地牟佐」の資源により、地域コミュニティが活性化していることを評価いただいたものです。(裏面参照)



出口 1*

駆除されたイノシシやシカは、「自然の恵み」。お肉も皮も無駄にしません。町内会として MATAGI プロジェクトに参画。獣皮は東京まで送り、なめしてもらい、再び牟佐に帰ってきます。



入口*

イノシシ被害の SOS が寄せられ、町内会が立ち上がりました。捕獲柵を購入（市補助事業）。

猟友会の高橋さん、住矢さんにお世話になり捕獲駆除をスタート。



*出口 2

従来、廃棄されてきた獣皮、実は高価なもの。10月の刑務所矯正展で革製品の試作、販売に初挑戦。ほぼ完売でした。これらは、岡山市区づくり推進事業として、市からバックアップいただいています。

